

平成30年度経営計画
中期経営計画（平成30年4月～平成33年3月）

1. 法人の理念

『福生積善』（福に生きて善を積む）

～いかなる環境の下においても個（ひと）を理解し、個（ひと）を支え、
豊かな暮らしの実現を目指す福祉を展開します～

2. 基本姿勢

1. 利用者、家族のニーズの把握に努め、自己決定・自立支援を基本とする。
2. 利用者本位のサービス提供を基本とする。
3. 利用者、家族の生活の全体像把握に努め、その中で我々の提供するサービスの担う役割と有効性を常に検証する。
4. 利用者の生活の個別性を尊重し、個別処遇を基本とする。
5. 利用者の権利擁護を遵守し、家族を含めた個人情報には守秘義務を徹底する。

3. 法人経営の健全化（拠点事業の適正運営の強化）

1. 第7期介護保険制度改正、報酬改正に対応した経営を行います。
2. 施設サービスにおける目標稼働の達成を目指し重度化対応、看取り体制の強化、利用者確保に向けたデータ管理を徹底します。
3. 在宅サービスにおける安定した利用者確保を目指し居宅介護事業所、地域包括支援センター等の関係機関との日常的な地域連携を徹底します。
4. 各拠点の組織化の強化を図ります。管理者及び管理職を担う職員の適正配置を行います。事業体の運営の要となる主任、副主任の人材を投与し利用者支援に向けて安定した運営を行います。

4. 職員確保及び育成定着の強化

1. 職員の確保、養成、定着、育成、次期幹部職員候補の養成に至る職員教育を一貫して組織的に実施します。
具体的な体制として、初任者研修、実務者研修、喀痰吸引研修等の職員養成研修及び新任職員研修、中堅職員研修、上級者研修などの職員育成研修を教育担当の下で組織的に一貫して行います。
2. 給与改定に関わる検討を行い、基本給の構造、資格手当、夜勤手当等について適正な仕組みを構築していきます。尚、改定につきましては、処遇改善加算金等も考慮しながら、早期に実現できるよう検討していきます。
3. 事業経営に影響が及ぶ資格取得に向けた支援をヒト（講師）、モノ（時間・プログラ

ム)、カネ（一部負担）、ジョウホウ（サイボウズ、SNS）の4つの分野から実施します。

4. 外国人労働者の受入れ、育成の支援を各拠点に担当者を設けて行います。
5. 定期化した養成校・機関への訪問を実施し、連携強化を図ります。

5. 中期経営計画の（初年度）

一貫した人材教育を行い、安定した質の高いサービスが提供できる組織体制の再構築を行い、多様なニーズを抱える地域住民への支援と社会貢献を目的に、より健全な法人経営を目指します。

6. コンプライアンス（法令遵守）の強化

1. 社会福祉法人として、高い水準のコンプライアンス体制を強化し、この活動を通じて、広く地域社会、地域住民から信頼を得ます。
2. コンプライアンスの不徹底は、法人経営そのものに大きく影響を与えることを周知徹底する体制づくりをおこないます。
3. コンプライアンスの遵守を全職員に対し最重要課題として位置付け、教育指導を徹底します。

7. 施設整備の取組

1. 永栄園の建替えを含む耐震対策について具体的な検討を実施するためのプロジェクト委員会を立ち上げます。三年後の次期中期経営計画までの期間に、その方針とタイムスケジュールを可視化する取組を行います。
2. 利用者の安全と安心を保障する環境を提供する事を目的に、各拠点の施設整備について、老朽化した設備の入替えや大規模修繕を必要とする事案を統括したうえで優先順位を付け、予算管理と改修計画を一体的に実施します。